

編集後記

日本医学会が各分科会の理事長にあて、本年3月に発出したレターを目にする機会があった。その内容は「悪徳雑誌への注意喚起について」というものである。最近は学術論文においても紙の雑誌から電子ジャーナルへの移行が目立つようになったが、その中には著者からの論文掲載加工料による収入のみを目的として、掲載論文の質や出版管理が粗雑な「悪徳雑誌/ハゲタカ雑誌」なるものがあるそうだ。いったんその雑誌に投稿すると、想定以上の論文掲載料を請求され、業績評価にもあたらず、永続的な保存も保証されず、掲載されることでかえって著者が否定的な印象をもたれてしまう。さらに取り下げができず他紙への投稿もできない、などの危険があるとのことである。英文の論文を投稿する際には、少なくともその雑誌が学術出版業界で認められているかどうか、DOAJ (Directory of Open Access Journals) で確認するよう勧めている。時代の流れを感じるが、業績をあげることに走るあまり早まって失敗することがないように、投稿誌をしっかりと見極める必要があることを本誌読者にも注意喚起したい。

さて、今月は「爪および爪周囲の疾患」がテーマである。とくに高齢者の爪のケアは日常臨床では頻繁に遭遇する皮膚科医の仕事となった。疾患としては爪甲肥厚、鉤弯症、爪白癬、陥入爪などが多いが、今回はそれらの日常よくみる疾患に加え、遺伝性疾患や腫瘍、さらに薬剤性の爪障害など、多くの臨床例を報告していただいた。読者の日常診療の参考になれば幸いである。

ちなみに、本誌はハゲタカではなく、40年以上の歴史を有する皮膚科臨床誌であることを付け加えておく。
(T.A.)

次号予告 Vol.41, No.10

特集 色のついた皮膚病(赤)(仮)

◆展望

酒酸をみたとき 山崎 研志

◆治療

血管腫の新しい治療(仮) 栗野 嘉弘

◆臨床例

Hobnail hemangioma(targetoid hemosiderotic hemangioma)

竹原 友貴, 庄田裕紀子

ベキサロテンが奏効したSézary症候群 薄井 利大ほか

自然退縮した乳児筋線維腫 大澤 梨佐ほか

旋尾線虫Type Xによるとと思われるCreeping disease

橋本 優希ほか

左下腿に生じた異所性乳房外Paget病 神谷 秀喜, 北島 康雄

体重減少を主訴にした第2期梅毒 長谷川 巧ほか

四肢に滲出性紅斑を呈した伝染性単核球症 片桐 正博ほか

非代償性肝硬変症患者に発症したクリプトコッカス症

今井 聡子ほか

スズメサンタニ刺症の2例 神 可代ほか

糖尿病に合併した環状弾力線維融解性巨細胞肉芽腫

真柄 徹也ほか

集簇した紅色丘疹を呈した前立腺癌の皮膚転移 渋谷 真美ほか

*Borrelia miyamotoi*とライム病ボレリアの共感染により

遊走性紅斑を呈した例 荻根沢真帆子ほか

Merkel細胞癌——多臓器転移の病理解剖症例——

竹尾 友宏ほか

BCG接種後に腺病性苔癬を発症した2乳児例 芦塚 賢美ほか

虫刺を契機に発症した好酸球性環状紅斑 岩切 琢磨ほか

◆皮心伝心

変わりゆく患者事情 早川 道郎

◆私の視点

森実 真

◆学会ハイライト

第118回日本皮膚科学会総会を終えて 秋山 真志

◆診察室の四季

斉藤 隆三

◆皮膚科のトリビア

浅井 俊弥

◆声(質疑・応答を歓迎します)

皮膚病診療 Vol. 41, No.9(2019)

令和元年 8月25日印刷

令和元年 9月1日発行

1部定価2,800円(本体)+税 送料別

年ぎめ予約購読料39,000円(本体)+税

発売所/丸善出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階

TEL 03-3512-3256(代表・受注センター) FAX 03-3512-3270

編集人 斉藤 隆三

発行人 山田 淳史

発行所 株式会社協和企画

〒170-8630 東京都豊島区東池袋3-1-3

ワールドインポートマートビル8階

電話: 03-5979-1400(代)

振替口座: 00190-0-36746

印刷所 株式会社 エイチケイ グラフィックス

ご購入ご希望の方は直接弊社もしくは書店までお申し込みください。

© 株式会社 協和企画 2019年

・JCOPY <(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。